



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 (株)JA情報サービス



今の特集
4~5面

県内農業振興に組合員が活躍
神奈川県内の農業振興にJAはだのの組合員が活躍している。県茶業振興大会で2人が大臣賞に輝き、県の生活技術指導士に2人が登録された。

2月28日は
午後3時まで
営業時間変更
2月28日(金)は決算に伴う棚卸のため、営業時間を次の通り変更します。ご理解とご協力をお願いします。
◎はだの 午前9時~午後3時
◎JAグリーンはだの 午前7時30分~午後3時
◎Sun's Geat 0(サンズジェラト) 午前9時30分~午後3時



石井部長が丹精して育てたバラ

大切な人に贈る「愛」のバラ

花を贈る機会が増えるこの時期。愛妻の日(1月31日)や、フラワーバレンタインの他、ホワイトデーや卒業入学シーズンが控え、生産者は良質な花の生産に励んでいる。



長は、50坪の温室で12品種を栽培したバラを東京都の市場に出荷している。石井部長は「おめでとぅや、ありがとう」を伝える時にぜひ花を贈ってほしい。大切な人はもちろん友達や家族にも、気軽に贈ってもらえたら」と笑顔を見せた。

じばさんず
午前9時から
午後5時まで

3月から営業時間 年間を通して統一

じばさんずは3月1日(土)から、営業時間を午前9時~午後5時に変更します。これまで3月~9月と、10月~翌年2月の営業時間を分けていましたが、年間を通して統一しました。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

来店者1100万人祝う

地域に根差した直売所に



1100万人目の来店者と役員ら

じばさんずは4日、来店者1100万人を達成し、記念セレモニーを開いた。レジを同時に通過した4組を祝い、記念品を手渡した。

宮永均組合長ら役員5人が、地場産の花の寄せ植えと、秦野産加工品の詰め合わせを記念品として贈呈。日頃の利用に感謝を伝えた。

記念品を受け取った中村文彦さんは「1100万人目になれてとても光栄。家庭菜園をしていると農業の大変さが分かるので、これからも地場産を食べて応援したい」と語り、県内最大級の農産物直売所として2002年にオープン。昨年度は約51万5000人が訪れた。地域に根差した店舗づくりを進めようと、昨年12月からスタートした秦野市の電子地域通貨「OMOTAN(おもたん)コイン」にも加盟。幅広い利用者層からの人気を集め、生産者と消費者をつなぐ地産地消の拠点として、地域に定着している。

そばを打ち味わう 農業満喫 CLUB

はだの都市農業支援センターは1日、田原ふるさと公園でそば打ち体験ができるイベントを開いた。「はだの農業満喫CLUB」の企画の一つ。市内外からの参加者が、秦野産のそば粉を使った



そばの生地を延ばす親子

そば打ちに挑戦した。「そば処東雲」のスタッフ3人が講師になり、手本を見せながら工程を解説。粉に加える水の量や、生地のコね方と延ばし方のコツを伝えた。参加した6組17人はスタッフのサポートを受けたり、参加者同士で工程を確認したりしながらそば打ちを体験した。打ちたてのそばは、地場産野菜を使った天ぷらなどと一緒

味わった。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

キウイフルーツ出荷 競合避け有利販売

果樹部会キウイフルーツ部が生産する、果肉が緑色の主力品種「ハイワード」。今シーズンの出荷が、終盤を迎えている。部員が丹精して育てたキウイフ

フルーツは、玉伸びが良く品質は上々。青森県の市場や、JA全農かながわ中央ベジフルセンターなどに3月まで出荷を続ける予定だ。



キウイフルーツを点検する部員

手作業で丁寧にチエツク

今シーズンは、昨年11月に約23トンを集荷した。高温や日照りで玉伸びが心配されたが、授粉・摘蕾(てきらい)・摘果など、部員の適切な管理が功を奏し、順調に生育。生育後半は雨に恵まれ、大玉の果実が収穫でき、収量も昨シーズンより2ト増えた。同部は有利販売につなげようと、ニュージューラなどからの輸入品との競合を避けた販売方法を確立。集荷した果実を

大豆「津久井在来」を検査 収量減も品質良く

JAはだのは、12月18日袋(1袋約30キ)の品質を確認し、等級を付けた。1月23日、2月12日の3日間、本所で大豆の検査員を務める職員が、農産物検査を行った。生袋ずつ開封し、粒の大きさに加え、暑さが長引き株の枯れ込みが遅く、



大豆の品質を確かめる職員(左)と生産者

今シーズンは実が膨らむ時期に雨が少なかったことに加え、暑さが長引き株の枯れ込みが遅く、

検査した大豆は、県産の「津久井在来」。市内の豆腐店などで使われる他、生産者が納豆や豆菓子に加工して仕上げます。生産者の一人、(株)大地の小泉貴寛さんは「収量は少ないが、品質の良い大豆が作れた。来シーズンは収量もしっかりと確保できるように工夫していきたい」と力を込めた。

除草剤割引キャンペーン

3月8日(土)~16日(日)

特別価格で販売する除草剤

JAグリーンはだのは3月8日(土)~16日(日)、除草剤の割引キャンペーンを実施します。期間中は「ラウンドアップ」や「プリグロックス」などの人気商品を特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719



最新の情報を学んだ講習会

病害虫の最新情報学ぼう やさい部会露地部が講習会

冷蔵貯蔵庫で保管し、出荷時期を調整している。1月23日には、部員と選果場スタッフら9人が、貯蔵している「ハイワード」を点検。一つ一つ手作業で丁寧にチエツクし、軟化した果実を取り除いた。三川正己部長は「キウイフルーツの状態を見ながら、市場の需要に合わせた出荷している。甘さが増したおいしいキウイフルーツに仕上がったので多くの人に味わってほしい」と笑顔で話した。

やさい部会露地部は1月29日、本所で栽培講習会を開いた。病害虫や農薬の最新情報の他、土壌改良について理解を深めた。JA農業技術センター

普通作 ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (廣瀬)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

- 果樹花き課 果樹(筑島)・作物加工課 作物(城戸)
- 花き 花き(青木) 加工(小川)
- 野菜課 (草野)

種皮が赤みがかって光沢があるものを選びましょう。10ヶ当たりむき実で4〜5キロを用意します。種皮がむけたものは、病気にかかりやすいため、取り除きましょう。

栽培土壌について 落花生は干ばつに強いですが、湿害を受けやすいため、排水が良い圃場(ほじょう)を選びましょう。初期生育には窒素成分が必要ですので、土壌診断に基づいて元肥を施用してください。

元肥の目安は、10ヶ当たり、窒素、リン酸、カリ2・4キ、5・6キ、8キです。土壌中のカルシウム成分が少ないと空莢が増えますので、元肥には必ず石灰資材を施用してください。

コガネムシ類の幼虫防除として、播種時に薬剤を播種土壌混和または全面土壌混和しましょう。堆肥を施用する場合は、播種の1カ月前までに行

「Qなつつ」ゆで豆の生育ステージ(目安)

作型(作期)	播種期	開花期	成熟期(収穫適期)	成熟日数	注意点
早期	4月25日ごろ	6月22日ごろ	8月11日ごろ	50日前後	気象概況によって変動する
普通期	5月12日ごろ	6月27日ごろ	8月24日ごろ	58日程度	

神奈川県では「郷の香」に代わるゆで豆用品種として、2024年から導入しています。千葉県が13年に育成し、17年に品種登録されたもので、愛称は「Qなつつ」です。千葉県では主に、いり豆用として栽培されていますが、ゆで豆用としての適性もあることが知られています。施肥、播種、栽培管理などは「郷の香」に準じて行いますが、株間については「改良半立」に準じて行ってください。(城戸)

未熟堆肥の有機物施用はコガネムシ類の幼虫被害を増加させるので、完全した堆肥を施用してください。

播種は、早まきで4月下旬ごろ、普通期で5月中旬ごろに行います。播種の深さは、3〜4センチとってください。

未熟堆肥の有機物施用はコガネムシ類の幼虫被害を増加させるので、完全した堆肥を施用してください。

播種は、早まきで4月下旬ごろ、普通期で5月中旬ごろに行います。播種の深さは、3〜4センチとってください。

部員に声かけ地域貢献

社協に食品266点寄付

女性部は1月28日、秦野市保健福祉センターを訪れ、市社会福祉協議会が取り組むフードドライブ(食品の寄付)に食品を提供した。同会に協力するのは4回目。榎田真弓部長と石井理代・吉田美津江両副部長が、梶山孝夫事務局長に食品266点を手渡した。

フードドライブ



梶山事務局長④に食品を手渡した

同部は2020年から、食品ロスの削減や、地域社会への貢献を目的にフードドライブを実施。活動を継続することで、持続可能な開発目標(SDGs)に対する部員の意識を高めている。

今回も全7支部が連携し、備蓄して使わなかった食品や、中元・歳暮などで受け取ったまま食べずにしまっている食品などの寄付を部員に呼びかけた。

寄付を受け取った梶山事務局長は、支援する相手によって食品の種類を変えていることを報告。生活に不安を抱えてセンターを訪れる相談者には、缶詰やレトルト食品など、すぐに食べられる食品を提供し、子ども食

堂などを運営する団体には、調理に使える調味料や乾物を中心に配布していることを説明した。

静岡の食や歴史を学ぶ

フレミズのつどいで親睦

J A はだのは4日、フレミズ講座の受講者を対象に「フレミズのつどい」を開いた。18人が静岡県島田市を訪れ、観光しながら親睦を深めた。

参加者は、緑茶・農業観光の体験型フードパーク「KADO DE OIGAWA(カドデオイガワ)」を訪れ、パーク職員から施設の説

次世代に伝統料理教える

園児の保護者と交流深める

女性部は18日、本所で「ふるさと料理教室」を開いた。若い世代に秦野の伝統料理や手作りおやつを伝えようと開いているもの。市立みどりこども園の園児の保護者に、蒸しまんじゅうの作り方を指導した。



参加者に蒸し方を教わる部員⑥

参加者6人は部員から、作業手順や具材の包み方の説明を受けた。その後、蒸しパンミックスに水を加え、硬さを確認しながら基本の生地を作った。生地を練り込んだ生地を、小豆あんを、基本の生地にはシューマイを包み、まんじゅうが割れないように調整し、蒸し器でふかして完成させた。



参加者ら島田市博物館で説明を聞く

参加した秋月静香さんは「子どもがたくさん食べてくれて良かった。思っていたよりも簡単に作ることができたので、家でも子どもと一緒に作りたい」と笑顔で話した。

支部だより シイタケほだ木作り 南支部は5日、北・上支部は7日、大根支部は10日に各支所でシイタケのほだ木を作った。

支部だより シイタケほだ木作り 南支部は5日、北・上支部は7日、大根支部は10日に各支所でシイタケのほだ木を作った。

支部だより

行事、運動会、旅行など活動の場が多くあり、班のメンバー4人、声をかけ合いながら参加し親睦を図っています。参加できる活動があること、元気な声でいられることに感謝です。これからも班の皆さんと一緒にいろいろな行事に参加し、楽しく健康に過ごしていきたいです。



東支部 井の城生活班 班長 石垣 きょう子さん

部員は、コナラの原木に電動ドリルで穴を約30センチ間隔で開け、手分けして2本のほだ木を完成させ、カ所開け、手分けして木を打ち込んだ。

部員は、コナラの原木に電動ドリルで穴を約30センチ間隔で開け、手分けして2本のほだ木を完成させ、カ所開け、手分けして木を打ち込んだ。

本町・西支部 イチゴ狩り 西支部は1月25日、本町支部は2月14日にイチゴ狩りを行った。西支部は堀西の「ファームスクエア丹沢の森」、本町支部は戸川の「村上いちご園」を訪れ、両支部合わせて22人がいろいろな品種のイチゴを味わった。

本町支部は、園主の村上さんから摘み取り方の説明を受けた後、イチゴ狩りを開始。なかなか「ちや」ほしうららなど10品種の中から、好みのイチゴを選んで摘み取り、食べ比べを満喫した。その後、バックに入れて土産として持ち帰った。

いきいき女性部活動

本町支部は、園主の村上さんから摘み取り方の説明を受けた後、イチゴ狩りを開始。なかなか「ちや」ほしうららなど10品種の中から、好みのイチゴを選んで摘み取り、食べ比べを満喫した。その後、バックに入れて土産として持ち帰った。



修了証書を受け取る修了者④

協同組合講座45人修了 地域盛り上げに期待

J Aはだの取り組みとして、本所で開いた閉講 協同組合講座が1月29日、閉講式を迎えた。受講したことを農業や地域活動で生かす、地域やJ Aを盛り上げてほしい」として、講師は、協同組合の歴史やJ A事業、地域農業などの知識を深めてきた。修了者は今後、地域の協同活動の実践者として活躍していく。今年度は、45人が修了した。

一丸となることを確認 研修会で高梨晃さんが講演

J Aはだの1月24日、本所で「男の料理教室」を開いた。高梨晃さんが講師を務めた。高梨さんは、卵焼きを作った汁物やゼリーなどを使った巻き方を確認しながら調理、互いに声をかけ、こづを伝え合っていた。参加した新宮淳一さんは「普段も趣味で料理を講師の指導で太巻きしを作る参加者

たことに感謝している。講座を通して学ぶという大切な時間を持って」と笑顔で話した。



講師の指導で太巻きしを作る参加者

二人三脚で管理丁寧 県茶園共進会で大臣賞 相原和夫さん

相原さん夫妻は、有機質の肥料を使い、冬にはカヤを敷いて軟らかい土壌を保つよう管理する。周辺環境の整備も徹底。茶園はもろろん、周囲にある山林の草刈りもしっかりと行う。病害虫防除などの時期ごとの管理が適切にできると、作業の内容は日誌に丁寧記録している。地域の茶生産仲間とも連携し、病害虫や肥料などの情報を積極的に共有。茶の刈り取り時期には、4軒の農家で協力して摘採作業に汗を流す。



県茶園共進会で大臣賞を受賞した相原和夫さんと久美子さん

神奈川県の農業振興を担う

神奈川県の農業振興に向けて、J Aはだの組合員が活躍している。県茶業振興大会、2人が農林水産大臣賞に輝いた。県知事が認定する「ふるさと生活技術指導士」には、新たに2人が登録され、今後の活躍に期待がかかる。

秦野の組合員が活躍

ふるさと指導士に認定
向原洋子さん・吉田敦子さん



認定証を受け取った向原さん⑧と吉田さん

小養毛の向原洋子さん、あることは東田原の吉田敦子さんは1月29日、神奈川県庁で「ふるさと生活技術指導士」ある。認定の認定証を受け取った。農を営むと産加工や料理など、ふるさとへの文化の継承活動を通じて、都市農業の振興に役を要請を受け、指導士に認定された。指導士は、農や農村地帯に受け継がれてきた生活技術を伝承している人が認定される。伝承活動を通じて、地域の他、地域農産物の消費や農業理解を促す啓発活動などが期待される。

善提でわさびや茶園を営む山口勇さんは、令和6年度神奈川県茶品評会で農林水産大臣賞に輝いた。日頃の茶園管理と製茶技術が高い評価を受け、審査員から「極めて優れた茶」と評された。



県茶品評会で大賞に輝いた山口さん

山口さんは、2・5畝の茶園で8品種を生産。就農してから47年たった技術と経験を積み重ねてきた。土づくりのしつかりと行い、良質な生葉を摘採する。その上で、培ってきた技術と感覚を生かして加工。生葉を蒸す工程も、むむむと、原葉の状態を見極め、温度や機械の回転数などを細かく調整しながら仕上げる。

「茶の加工は五感が大切。1年間手塩にかけて育てた茶なので、原葉の良さを引き出すことを心がけている」と話す。J Aはだの茶生産者のリーダーとして、業部の部長を務め、市内の活躍している。山口さんは「今後は時代に合わせた茶の商品化を進めていく必要があると感じている。消費者へのPRはもちろん、部員へのモチベーション向上になる活動も検討していきたい」と力を込めた。

共進会は、県内各地域の予選を通過した16点の茶園に審査員が直接足を運び、整枝・均整度など5項目で管理状況を審査する。相原さん夫妻の園は樹勢があり、葉層や分枝が確保され、土壌管理も適切であると評された。

予選を通過した16点の茶園に審査員が直接足を運び、整枝・均整度など5項目で管理状況を審査する。相原さん夫妻の園は樹勢があり、葉層や分枝が確保され、土壌管理も適切であると評された。

中学生の職場体験受け入れ
本町の三嶽さん

三嶽さんは「農業は実学なので、実際の作業を通じて食と農の大切さを知ってほしい」と話している。体験受け入れは、1月31日、三嶽さんの畑で市立本町中学校1年生8人の職場体験を受け入れた。農業の基本を学んで、冬に行う土づくりを体験して用意された。

農機展示のり
JAグループ神奈川

JAグループ神奈川とJA全農かながわは、8の両日、平塚市田村のJA全農かながわで農業機械展示予約会を開いた。J Aはだの管内からは11人の組合員が訪れた。

資産を守る部会
対策学ぶ運用セミナー

資産を守る部会
対策学ぶ運用セミナー

発見 肉の専門家

本町の「本多」を営む本多友一郎さん。肉の専門店として「おいしい肉が自慢」を創造する。肉の専門家として「おいしい肉が自慢」を創造する。肉の専門家として「おいしい肉が自慢」を創造する。

黒毛和牛の頭買い

肉屋に卸している中央卸売市場に行き、自ら目撃して仕入れられています。肉の専門家として「おいしい肉が自慢」を創造する。

葉ニンニクを使った給食を味わう

葉ニンニクを使った給食を味わう。葉ニンニクを使った給食を味わう。葉ニンニクを使った給食を味わう。

中学給食に 葉ニンニク 研究会が試食

葉ニンニク研究会は、中学校給食に葉ニンニクを提供した。地域での認知度向上を狙い、秦野市学校給食センター「はだのつ子キッチン」で、1月に「葉ニンニク」の試食会を開催した。

告知板



【3月のイベント】

- ☆「ひな祭り」3日(月)
秦野産の花やお菓子で、桃の節句をお祝いしましょう。
- ☆「お彼岸フェア」15日(土)～17日(月)
切り花や出荷者手作りの加工品、和菓子・お供え菓子などを多数そろえます。
- ☆「豚肉加工商品の日」21日(金)
㈱フリーデンが国産豚を使用したお得な商品を販売します。
- ☆「旬の果物・野菜フェア」毎週土、日曜日
旬の果物や野菜にスポットを当て、店舗外の特設コーナーで販売します。
- ☆「たまごの日」毎週月、金曜日
店頭価格から10%引き。一部の生産者出荷品は除きます。
- ☆「米の日」毎週水曜日
量り売りの米が店頭価格から10%引き。
- ☆「肉の日」毎週木曜日と29日(土)
店頭価格から5%引き。
- 【Sun's Gelatoのイベント】
- ☆「ポイント2倍デー」3日(月)13日(木)23日(日)
サン(3)ズジェラートの日は、ジェラート1個ご購入でスタンプカードに二つ押印します。

- ☆「お得なパンセット」8日(土)18日(火)28日(金)
8の付く日はパンセットの日。クロワッサンなどのパン商品を5個300円で販売します。組み合わせはお好みで選べます。
- ☆「ワンスプーンサービス」
雨の日は、ジェラート購入でお好きな味をスプーン1杯分お付けします。
- ◎3月1日(土)から、じばさんずの営業時間を午前9時～午後5時に変更します。
- ◎3月11日(火)は定休日です。
- ※準備の都合上、イベントが変更になることがありますので、ご了承ください。



今月の生産者

鶴巻の 沼田 佐七さん

ナバナ、ホウレンソウ、

小松菜など年間約10品目
葉物野菜を中心に、お客さまの声を聞きながら好まれる品種を選んで栽培しています。ナバナはつぼみが大きく付くものが人気で、おひたしにして食べるのがお薦めです。

鶴巻支店ATM
3月に入れ替え
鶴巻支店のATMを新しい機械に入れ替えるため、3月24日(月)は終日、同支店のATMが利用できません。同支店以外のATMは、通常通り稼働します。利用者皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。
お問い合わせは鶴巻支店まで。☎77-0840

チップソー数量
限定特別価格で
お問い合わせは鶴巻支店まで。☎77-0840

農業機械センターは、やまびこ純正チップソーを特別価格2200円(税込)で販売しています。数量限定ですので、お得なこの機会にぜひご利用ください。
お問い合わせは農業機械センターまで。☎81-8394

農産加工相談会
興味ある方参加を
JAはだの、加工相談会を毎月開いています。農産加工に興味がある方、これから農産加工を始めたい方、加工所の

講義と個別相談会(予定)

日時	内容	場所	その他
4月24日(木) 午前10時～正午	食品表示の注意点について ～食品の表示を確認しよう～	本所農業団地センター 2階調理実習室他	午後は個別の相談を受け付けます
6月25日(水) 午前10時～正午	包装資材の活用について【実践】 ～保存方法を学ぼう～		
9月17日(水) 午前10時～正午	食品の取り扱いについて ～食中毒を予防しよう～		
11月18日(火) 午前10時～正午	保存期間を延ばすための技術【実践】 ～殺菌方法など実践を交えて再確認しよう～		
2026年1月23日(金) 午前10時～正午	素材の生かし方について【実践】 ～実際に商品テストして品質評価(食味試験)をしよう～		

巡回相談会

巡回日		
3月13日(木)	5月20日(火)	7月18日(金)
10月21日(火)	12月9日(火)	2026年2月12日(木)

内容は表の通りです。県農業技術センター職員の話と個別相談会の他、センターとJAの職員が訪問する巡回相談会も実施しています。
参加を希望する方は、事前に電話でお申し込みください。
お申し込み・お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

地域農業振興
大会に参加を
地域農業の振興・活性化に向けて、組合員の結束を図るため、地域農業振興大会を開催します。組合員の皆さまは、ぜひご参加ください。
◎日時 3月11日(火)

午後1時30分から
◎場所 本所3階 虹の間
◎内容 ①じばさんず出荷者表彰②講演「都市農業版一市一農場制を目指す」
◎60歳未満の方
◎年間60日以上農業に従事している方
◎国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く)
お申し込み・お問い合わせは、はだの都市農業支援センターまで。☎81-17800

詐欺にご注意を
警察などに相談
県内で、地方公共団体や警察、銀行協会などを名乗ったキャッシュカード手交型詐欺が発生していますので、ご注意ください。
少しでも「おかしいな」と思った時は、1人で抱え込まず、警察または最寄りの支所・支店にご相談ください。

電子版もリリースされ、パソコンやスマートフォンからいつでも閲覧できます。ますます便利になった日本農業新聞をぜひ購読ください。
◎購読料(1カ月)紙版3100円、電子版2403円(税込)
◎その他 生産組合長を務めている方は、購読料の助成があります。
お申し込み・お問い合わせは各支所・支店、または組織教育課まで。☎81-7714

図書室の利用を
役立つ本いっぱい
本所農業団地センター3階の図書室には、農業をはじめ、料理やガーデニング、健康など、生活に役立つさまざまな本が3000冊以上並んでいます。家の光協会出版の最新刊図書も閲覧できます。
どなたでも入室できますので、図書室をぜひご利用ください。
◎貸し出し日数・冊数 2週間・1人3冊まで
◎開室日 月・金曜日(祝日を除く)
◎開室時間 午前8時30分～午後5時
◎貸し出し・返却 図書室にある専用の用紙に必要事項を記入するだけの簡単な手続きです。
お問い合わせは組織教育課まで。☎81-7714

日本農業新聞を
ご購読ください
日本農業新聞は、JAの系統組織の総合機関紙で、国内唯一の「日刊農業」専門紙として、営農技術、農畜産物のトレンド、農業経営の支援策、地域の話題など、農業に関する情報が満載です。「首都圏版」や「神奈川県版」には、秦野市内の農家やJAはだの取り組みなど、JAはだのから送られた記事も掲載されます。

日本農業新聞は、JAの系統組織の総合機関紙で、国内唯一の「日刊農業」専門紙として、営農技術、農畜産物のトレンド、農業経営の支援策、地域の話題など、農業に関する情報が満載です。「首都圏版」や「神奈川県版」には、秦野市内の農家やJAはだの取り組みなど、JAはだのから送られた記事も掲載されます。

年金無料相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。

3月16日(日) 本所農業団地センター

時間 午前9時～午後4時

信用課 TEL.81-7716

できるだけ事前予約をお願いします

募集 JA正職員

応募資格 2026年3月に大学または短大を卒業予定の方、卒業後3年以内の方

募集人員 若干名

職種 JA業務全般に携われる方(総合職)

応募受付期間 2025年5月30日(金)午後5時まで

応募方法 マイナビ2026のウェブサイトで「JAはだの」と検索し、確認してください。右記QRコードからもアクセスできます。

お問い合わせ先 〒257-0015 秦野市平沢477番地
秦野市農業協同組合 総務課
TEL.0463-81-7711(平日午前8時30分～午後5時)

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)

日向ぼこ縁側を恋ふ輪となる

鬼やらひ練納豆で待ち伏せる

ひっそりと谷の日溜まり梅の花

黄水仙の花の芯まで春来る

懐に立春の気をたたみ込む

蠟梅の香に誘はれし極楽寺

切干しは日干し風干し風匂う

節分会満たす齡のまめ納豆

追い越せぬものに齡や節分会

節分や鬢付け匂う関取衆

鬼やらひ只今ママは外出中

終の小花散らせし鬼やらひ

〈短歌〉(久保寺 富男 選)

山陰の紀行を繰りつつ蘇る

足立美術館の松園の童女画

評 松園とは美人画の日本画作者、上村松園。童女の絵は少ないが目鼻立ちのくつきりした美しい絵である。

寒空に一人星見るひとときに

幼き頃の父の面顔つ

陰る陽に潮引くごとく子等は去り

公園に寒き夕の風立つ

野に採りて干したる葉草垣通し

煎じてつつがなしや友がき

思い切り皿が割れてしまつたら

あなたに気持ちあつたか

愛染の葉封せむと火定せし

慧春尼の墓とぞ思ひ深く詣す

今月の理事会

2月12日に理事会を開き、次のことを審議しました。

▽金融資産の見直しについて

資産運用部会に加入を 研修会や先進地視察も



視察研修で積水ハウス(株)静岡工場を見学(昨年7月)

資産運用部会は、賃貸住宅などを経営する組合員を構成員として、経営の安定化と相互の交流を目的に活動しています。現在、一緒に活動する組合員を募集しています。興味がある方は、お気軽にご連絡ください。

加入資格 貸家・アパート・店舗・貸地などを経営する、または経営を将来的に計画している組合員とその家族

活動内容 資産管理セミナーの開催・支部活動・各種研修会の開催・先進地視察など

もしもの「事故」へ備え 農業労災保険の検討を

3月14日まで加入運動

農業従事者の高齢化などにより、農作業中の傷害事故が増えています。今年度は11月末現在、市内で9件の農業労災災害事故が発生しました。JAはだのは、農作業中の事故への備えのため「農業労働災害保険加入促進運動」を進めています。

療養・休業給付から遺族給付まで手厚い補償があり、掛け金は全額が社会保険料控除の対象です。この機会にぜひご加入ください。

運動期間 3月14日(金)まで

対象者と対象作業 ①特定作業従事者 ②自営農業の農業用トラクター、自走式田

▽指定農業機械作業従事者 ③補償期間 4月1日から翌年3月31日までの1年間

▽指定農業機械(兼業農家を含む) ④休業補償給付など

⑤保険料 年1回の掛け捨て制(給付基礎日額によって年間保険料は異なります)

▽大根地区 高橋由利子(南矢名今井規敬(南矢名) 花木道夫(南矢名) ⑥本町地区 井上克次(曾屋) ⑦南地区 荒井敏夫(尾尻) ⑧北地区 和田精一(戸川) ⑨上地区 井上實(三廻部)

※自己申告です。

葉ニンニクと牛肉炒め

西支部 片倉 妙子さん



■材料4人分■
葉ニンニク2束、長ネギ2本、マイタケ2株、牛こま切れ肉300g、片栗粉大さじ2、ごま油大さじ2、A(しょうゆ、みりん、酒、砂糖各大さじ2)

〈作り方〉
①葉ニンニク・長ネギは2センチ幅の斜め切りに、マイタケは根元を切って小分けにする。
②牛肉に片栗粉をまぶす。
③フライパンにごま油を入れ、牛肉、マイタケ、長ネギ、葉ニンニクの順に炒める。
④③がしんなりしたらAの調味料を入れ、味をなじませる。

〈ひとことアドバイス〉
濃い味が好みの方は、みそ大さじ1を入れて味を確認してください。ご飯にのせて、丼にして食べるのもお勧めです。

税務相談日 3月10日(月) 午前9時30分～
法務相談日 3月21日(金) 午後1時30分～
場所 本町支所
予約制です。事前に電話でご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。ご予約は協賛同コンサルトはだの 881-2329

結婚相談日 3月10日(月) 午前9時～10時30分
事前に電話でご予約をお願いします。先着3人です。お受けできない場合があります。ご予約・お問い合わせは組織教育課 881-7714

お問い合わせは(株)協同コンサルトはだのまで。 881-2329

88歳(米寿)
▽大根地区 福澤公子(鶴巻)
▽東地区 香川光江(西田原)

77歳(喜寿)
▽南地区 綾部憲司(今川町)
▽大根地区 高橋由利子(南矢名今井規敬(南矢名) 花木道夫(南矢名) ⑥本町地区 井上克次(曾屋) ⑦南地区 荒井敏夫(尾尻) ⑧北地区 和田精一(戸川) ⑨上地区 井上實(三廻部)

※自己申告です。

JA農機ハウスローン

農業の工夫が育みます

- 応援1 軽トラックの購入にも!
- 応援2 農業機械の購入にも!
- 応援3 ハウスの建設にも!
- 応援4 作業所・倉庫の設置にも!

JAグループ神奈川応援プログラム

利子補給事業

JAが取り扱う全ての農業資金(公庫資金を除く)について、最大1.0%(最長10年)の利子補給を行っています。

補給率 最長10年 最大 **1.0%**

保証料助成事業

JAが取り扱う全ての農業資金において、県農業信用基金協会の保証が付された場合の一括前払い保証料を全額助成するもの。一度お支払いいただいた後、全額助成いたします。

実質保証料 **0円**

詳しくは 各支所・支店または融資課まで ☎0120-954-093

インターネットで かんたん事前審査申し込み!!

24時間受付OK!

マイカーローン 教育ローン リフォームローン

- 1 JAはだのホームページにアクセス
- 2 サイト内の下記バナーをクリック
- 3 必要事項をご入力
事前審査結果はEメールにてご連絡いたします。

QRコード読み取り可能な端末はこちら

JAはだの 検索

PC・スマートフォンでご利用可能

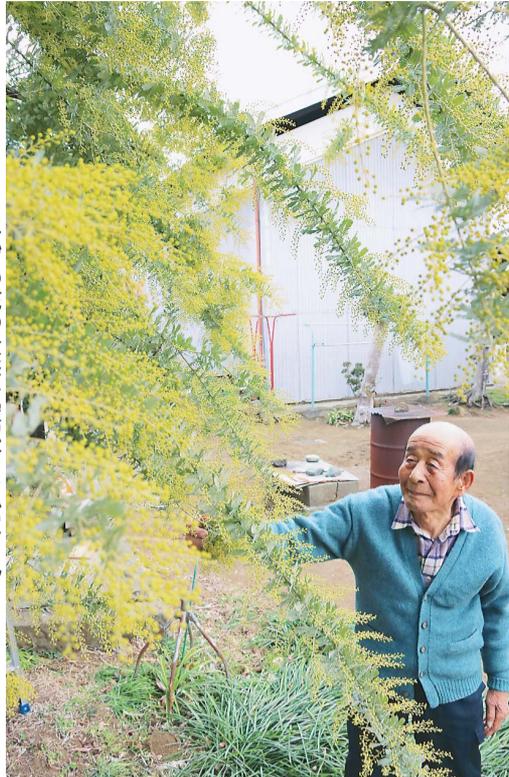
*正式審査のお申込みは、JA窓口でお手続きが必要です。

じばさんずで人気

「国際女性デー」のシンボル

ミモザ

じばさんずで、秦野産のミモザが人気を集めている。3月8日の「ミモザの日」に合わせ、花売り場に黄色いミモザの花がたくさん並ぶ。



ミモザの花の状態を確認する小室さん

渋沢の小室貢さんは、10年ほど前から同店にミモザを出荷。鮮やかな花が開いたタイミングを見極めて収穫する。30年ほど前に苗木を植えたミモザの木は、約5年に成長。小室さんは高い所の枝も収穫するため、はしごを登って作業に励む。出荷は3月中旬まで続く見込みだ。3月8日は、1975年に

国連が定めた「国際女性デー」。ミモザの花がシンボルとして親しまれ「ミモザの日」とも呼ばれている。海外では、家族など親しい女性にミモザを贈る習慣があるという。

小室さんは「近年は個別に注文が入ることもあり、ミモザの人気の高まりを感じている。華やかなミモザを家に飾ったり贈り物にしたりしてもらえれば」とほほ笑む。



出品した花を確認する部会員

秦野の花3点が受賞

関東東海 花の展覧会

花き部会は1月29日、東京・池袋のサンシヤインシティ文化会館で開かれた「第73回関東東海花の展覧会」の会場に、部会員が育てた花を飾り付けた。展覧会は、関東・東海地域の1都11県と、花卉(かき)関係の6団体が主催する、国内最大規模の花の祭典。その中で開かれる「花の品評会」に、部会員が丹精して育てた花を出品した。

品質や商品性を競う

品評会には、切り花や鉢物、枝物などの10部門に1462点が出品され、品質や商品性を競い合った。審査の後は、一般公開や即売会が行われた。会場ではフラワーデザインコンテストや園芸鉢物部から、6部門に合

計12点を出品した。審査の結果は次の通り。
◎カーネーション部門▽銅賞▽監物周作(上大槻)
◎バラ部門▽銀賞・神



餌用のサツマイモを運ぶおりの管理者

はだの都市農業支援センターは1月28、29、30の3日間、捕獲おりに仕掛ける餌用のサツマイモを無償で配布した。市内生産者の協力で、おりの1基につき15

おりの餌を無償配布

1基にサツマイモ15キロ。6年ほど前から、冬に無償配布を始めた。規格外のサツマイモや米ぬかの提供を生産者に依頼するなど、餌を確保する。南矢名の松本修一さんは「餌用にサツマイモを置いていたが、この時期は凍ると腐ってしまう。頻繁な交換が必要になるので配布してもらえて助かる」と話した。

奈川県知事賞▽和田稔(柳川)
◎シクラメン部門▽銅賞▽有はら園芸(菩提)

接近! おじゃまです

横野の吉田益雄さんは、農家に生まれ育ち、電子関係の専門学校卒業後に半導体メーカーに就職。台湾やフィリピンに赴任し、技術指導を任されるなど、国際的に活躍してきた。会社勤めの傍ら、24歳の時に狩猟免許を取得。現在は、神奈川県猟友会の秦野支部長として、有害鳥獣から地



横野の吉田益雄さん(75)

人との関わり合い大切に

地域の農業を守るために尽力している。「父が兼業農家で狩猟も行い、鹿やイノシシの肉を家で食べていたこともあり、狩猟は身近なものだった」と話す。北地区で鹿やイノシシがわなにかかるのは、はだの都市農業支援センターから吉田さんに連絡が届き、止め刺しを担う。春と秋の捕獲おりの現地検討会にも参加。鳥獣被害から地域を守るべく、猟友会として農業のサポートを続けている。自身は20坪の畑で自家消費用にサツマイモやダイコンなど年間約20品目を生産。畑の一部を保育園用地として寄付し、2011年から

は私立山辺保育園園長も務める。園児を畑に招きサクラランポの摘み取り体験の場を用意するなど、子どもたちに農業を身近に感じてもらおう活動にも励む。保育園の行事で、地域の高齢者らとも交流し、多くの人とのつながりを大事にしている。地域では、民生委員の他、市の体育指導員を10年ほど務めてきた。「周りの方たちにとって少しでもプラスになるような活動を目指していく。これからも地域の人の関わり合いを大切にしていきたい」と顔をほころばせる。

やえのちゃん ぴーなマンの

インスタ この1枚

今月の1枚は、7日に掲載した「お肉も地産地消! 門倉ポーク」の投稿よ。秦野のブランド豚「門倉ポーク」を紹介しているわ。

市内唯一の養豚場「門倉種豚場」で育てられているんだよね! 秦野の名水で育った豚は、肉質が柔らかくて甘みがあるのが特徴だよ。

料理に合わせて部位を選ぶと、もっとおいしく食べられるわ。秦野で育った安全・安心なおいしい豚肉を食べてね。

JJAはだの

お肉も地産地消!

門倉ポーク

InstagramのJJAはだの公式アカウントは、この他にも季節の農産物やレシピ、じばさんずの情報を発信しているよ。ぜひフォローやいいねをしてね。